

II. 教育・訓練資料

《教育資料》
安全文化の醸成

2013年2月

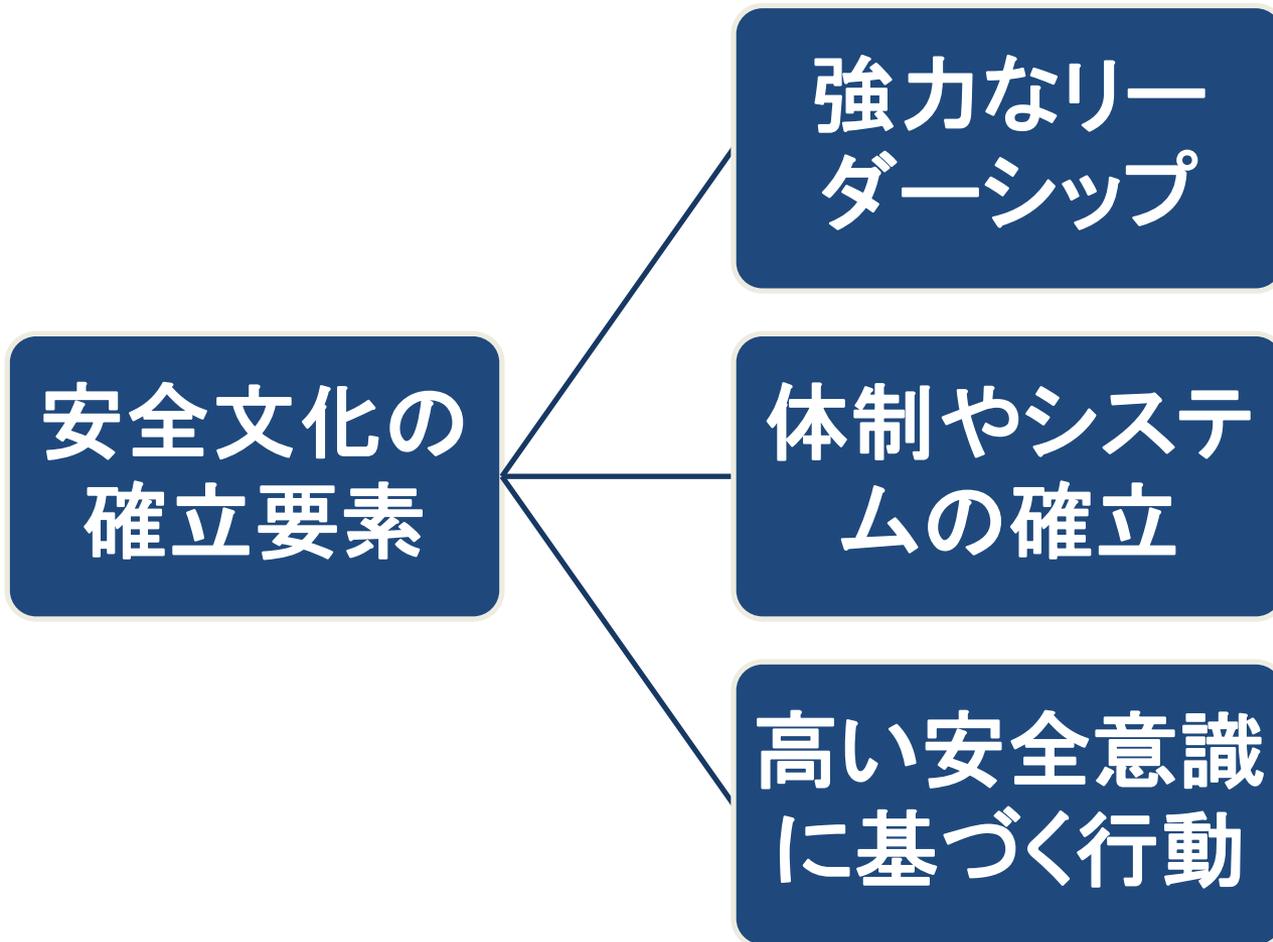
(公社)全国市有物件災害共済会
作成:(株)環境戦略研究所

目次

1. 安全文化の確立要素
2. 安全文化の醸成
3. マネジメントシステムの確立
4. 安全方針の重要性と方針例
5. 5S活動の重要性

注) 危険予知訓練と危険予知活動は別資料

1. 安全文化の確立要素



2. 安全文化の醸成

- 安全文化とは、業務遂行時に安全に関し、以下を普通の業務の一環としてこなせる組織の力
 - 組織が同じ方向性を維持して行動できる能力
 - 業務遂行上の重大リスクを事前に検知する能力
 - 重大リスクの対処法を見つけ決定する能力
 - 対処法(ルール)に従って確実に実施する能力
 - 実施した結果を評価しフィードバックする能力
- 組織に安全を配慮した文化を定着させるには、長い期間の地道で、たゆまぬ努力が必要
- 安全文化を定着させる効果的な方法として、マネジメントシステムの導入が近道
- 5S活動やKYT、KYK(危険予知訓練、同活動)の導入も有効

3. マネジメントシステムの確立

- マネジメントシステム（以下MS）とは、以下を含んだ仕組み
 - (P) : 重大リスクを見つけ、その対処法を決定し
 - (D) : 対処法に従って実施し
 - (C) : その結果を検証し
 - (A) : 検証結果を次の活動に反映する
- 重大リスクには、火災や爆発等の事故災害を含む
- 通常の業務は、PDCAの仕組みを基本としている
- 事故対応は、その場しのぎになり易い
- 体系的に取組み、組織の能力を向上させるには、MSの導入が効果的

安全MSに必要な主要要素

- ・組織のトップの強い関与と方針の提示
- ・以下の取組み
 - － 重大リスクの認識
 - － 事故発生時の対応策の策定
 - － 事故発生時の対応策に基づいた教育と訓練の推進
 - － 消防機関や運転委託会社など関連組織との協力・連携の推進強化
 - － 組織内で働く全ての人への各人への役割の周知
 - － 上記取組の効果についての定期的な評価と見直し

4. 安全方針の重要性

- 方針は、組織が一丸となって行動をする最も上流に位置するものです。
- そのため、方針は、組織のトップから示されます。
- 方針は、組織の活動の方向性を具体的に示すものです。
- 方針によって、組織は意図する方向性への統一された活動が可能となります。
- その為には、方針を関係者に周知・徹底することが必要です。
- 安全方針を提示・関係者が理解し、行動することが、安全文化の醸成と事故防止、適切な事故対応実現の基礎となります。

方針書の要件

- 方針には、具体的な取り組みを行うための方向性が示されています。
- 安全方針の方向性として、以下の内容に関する取り組みの約束が含まれていることが重要です。
 - 事故の発生予防の取り組み
 - 事故発生時の対応策の策定
 - 事故発生時の対応策に基づいた教育と訓練の推進
 - 消防機関や運転委託会社など関連組織との協力・連携の推進強化
 - 組織内で働く全ての人への各人への役割の周知
 - 上記取組の効果についての定期的な評価と見直し

安全方針（主要部分の例）

安全方針書

当工場は、以下に示す取組みにより、安全文化の醸成と事故の未然防止、発生した事故の局所化・極小化を図り、安心できる施設運営を実現します。

1. リスクの高い火災・爆発事故などの発生の可能性を検討し、事故の発生予防に取り組みます
2. リスクの高い事故が発生した場合に備え、事故被害の局所化・極小化を含んだ対応策を策定します
3. 事故発生時の対応策が有効に機能するよう、施設内の関連する部門と要員に、定期的に必要な教育と訓練を行います
4. 消防機関や運転委託会社など関連組織との協力・連携を推進・強化します
5. 施設内で働く全ての人に、各人の役割と責任を教育・訓練等により周知します

上記取組が有効に機能しているかを毎年評価・見直しを行い、問題点があれば修正します。

平成**年**月**日

* * 工場工場長

* * 太郎 ⑧

5. 5S活動の重要性

- 5S活動は、すべての事業活動の基礎
- 5S = 3S + 清潔 + しつけ
- 以下が期待できる
 - 職場の規律の確保
 - 職場の意志疎通の向上
 - 職場安全を向上
 - 業務効率を向上
- 以上を通しての安全文化の確立に寄与

3Sとは

- 整理
 - 必要なものと不要なものを区別すること
 - 不要なものは処分し、職場には必要なもの以外は一切置かない
- 整頓
 - 必要なものは誰にでも分かるようにしておくこと
 - 使えば元に戻し、探すムダを省くようにすること
- 清掃
 - ゴミなし、汚れなしの状態にすること
 - 職場も設備もピカピカにみがき上げること

5Sとは

- 3S+以下の二つ
- 清潔
 - 3Sを実行し、清潔な職場環境を保つこと
- しつけ(躰)
 - 決められたことを決められたとおりに正しく実行できるように習慣づけること